横浜市立 生麦中学校　2019 元 年度版　中期学校経営方針　（ 2019 元 ～ 3 年度 ）

学校教育目標

「コミュニケーション能力を身に付け、主体的に学習する生徒を育てます。」

○思いやりの気持ちを大切にし、心の豊かさを育みます。　【徳】
○向上心を持ち、麦のようにたくましく生きる力を高めます。【知・体】
○想像力を豊かにし、社会に貢献する姿勢を養います。　【公・開】

学校概要

創立 72 周年	学校長　山口 毅	副校長　桑山 博	3 学期制	一般学級：19	個別支援学級：4
児童生徒数：726 人	主な関係校：生麦小、岸谷小、寺尾小、上寺尾小、東台小				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
〈言語能力・コミュニケーション能力〉 〈問題発見・課題解決能力〉 〈持続可能な社会の創造に貢献する力〉

中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
生麦中学校 生麦小学校 岸谷小学校 寺尾小学校	○学習や生活の良い習慣を身に付け、自分の力を伸ばそうと努力する子ども ○「まち」と関わり合いながら学び、「まち」を大切にする子ども ○生徒が主体的に取組む授業実践の推進。 ○「岸谷祭」「旧東海道祭」など「まち」で開催される行事への生徒参画機会の設定。 ○中学校ブロック内小学校を招く「文化・スポーツ交流会」（生麦カップ）の実施。 ○小中合同授業研修会（道徳）と小中一貫教育推進会議の実施。

中期取組目標

○「笑顔溢れる成熟した学校づくり」を目指します。
・カルキュラムマネジメントを通して、学校の教育力を向上させます。
・授業改善の視点を充実するとともに、生徒が主体的に取組む授業の実践を目指します。
・挨拶を大切にし、強い意志を持って、しなやかに思考し、正しい行動を行う力を育てます。
・体力向上一校一実践を推進し、学校生活の中で体力向上に取り組みます。
・地域活動に積極的に参加し、「まち」とのつながりを強めていきます。
・生徒の将来の自立を目指し、社会で活きてはたらく資質・能力を高めます。

重点取組分野	担当	具体的取組
生きてはたらく知	授業改善部門	①年間2回の校内授業研や小中一貫教育推進ブロック授業研において積極的に授業公開し、授業改善の視点を充実させ、生徒が主体的に取組む授業を目指す。 ②学校独自試験（英語、3年全体）を実施し、集計結果をもとにしながら授業改善を行う。
豊かな心	学習指導部人権道徳	①道徳的価値を理解し、考え・議論し・実生活との関連を重視した道徳授業の充実を図る。 ②青少年赤十字に登録し、命の学習（教育）を学年ごとに実施し、自他を大切にする心情・態度を育む。 ③中学校区ブロックでのこども会議を実施し、人権意識の充実を図る
健やかな体	保健安全指導部	①体力向上に向け、一校一実践運動を通し、生徒一人ひとりが課題に取り組む態度を育てる。 ②外部講師を招き、基本的生活習慣の定着と健康・安全についての理解を深めるために食育を中心に健康教育の充実を図る。
児童生徒指導	生徒指導部	①年3回の教育相談日を設けたり、日頃から声かけを行ったりするなど、生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導に組織的に取り組む。 ②生徒指導研修会を複数回実施し、一人ひとりの生徒について情報を共有し組織的な対応を行う。
地域連携	学校運営部	①地域の方々を講師に招き、地域講座を開催し、「まち」とともに歩む学校つくりを行う。 ②生徒と地域住民との懇談会開催やHUG（被災者運営ゲーム）を実施し、学校地域の情報共有、協力体制つくりや理解を仰ぐ。
公共心と社会参画	特活指導部・総合	①自分づくり（キャリア教育）について1年次、地域・職業講話、2年次で職業体験を行うことで理解を深める。 ②生徒と地域住民との懇談会開催やHUG（被災者運営ゲーム）を実施し、社会の中で自らの役割を意識し、将来の目標を持てる生徒の育成を図る。
いじめへの対応	いじめ防止対策委員会	①年2回いじめにを含む生徒指導研修を行い、全教職員のいじめに対する感度を高くするとともに、生徒指導部と連携した教育相談や生活アンケートにより細かな変化を見逃さない体制をつくる。②月1回以上いじめ防止対策委員会を開催し、認知された案件の経過確認をていねいに行うことで再発防止に努める。
人材育成・組織運営（働き方改革）	総務部	①メンターチームを組織し、ミドルリーダーを中心としながら月1回程度の自主研修を行い、経験の浅い職員の育成を図る。②働き方改革の視点から、持続可能な部活動について全職員での検討会を行い、適切な活動時間について考える。